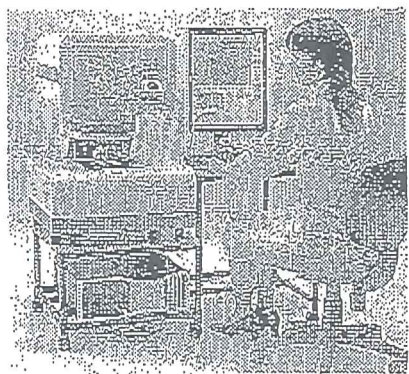


画像処理装置などを扱う  
ユーエスディ（川崎市、小  
島秀作社長）は、遠隔で病  
理診断ができる支援システ  
ム「ム（マイクロ）Pix  
er II」を開発した。専門  
医がインターネットを通じ  
て、離れた医療機関にある  
顕微鏡を操作し、がん細胞  
などの映像を見て悪性かど  
うかを診断できる。二〇〇



## 遠隔病理診断、迅速に

ユーエスディが支援システム

八年一月に発売する。

東北大学や岩手医科大学  
などと共同で開発した。顕  
微鏡には自動的にピントを  
合わせる機能があり、映像  
をリアルタイムで確認でき  
るため、手術中でも迅速に  
診断できる。従来の遠隔診  
断は、画像を電子メールで  
送るなどの手間がかかって  
いたという。

地方の医療機関では病理  
医が不在の場合もあり、拡  
大している遠隔診断への需  
要に対応する。価格は顕微  
鏡と画像を確認する端末の  
セットで千二百万円程度。  
初年度は十台の売り上げを  
目指す。

遠隔地でもが  
んなどの病理  
診断ができる